



グループエンカウンターで仲間づくり

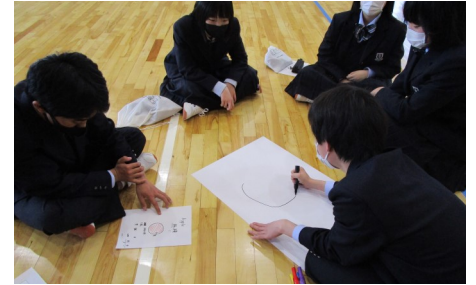
「吉川高校生の成長物語」、今回は

1・2年生が体験した「グループエンカウンター」の様子を紹介します。エンカウンターとは、他者との出会いやコミュニケーション、交流を通して、人間的に成長し、自己理解を深めていく体験です。リーダー（外部講師）が提示するエクササイズ（課題）に2人で、あるいはグループで取り組み、学級内の親睦を図り、望ましい仲間づくりの契機としました。

1年生：伝えること・聞くことの難しさを学ぶ [4月12日(火)]

まずは、緊張した雰囲気や2人組によるインタビューや他己紹介でほぐした後、5～6人のグループを編成し、課題「APPLEポスターを完成しよう」に挑戦しました。事前に5分割されたポスター（解答）の担当部分を一人がじっくりと観察し、描き手に自分が見てきた情報を言葉（口頭）のみで伝えます。自分が見た部分がポスターのどの位置なのかもわからないため、互いに言葉で説明し、新しい発見や気づき、試行錯誤を繰り返しながら、5つの情報をまとめてポスターを制作しました。

最後に各グループのポスターを披露しました。各グループの担当者は同じポスター（解答）の1部分を見て、伝え、それを描き手が聞いて作成したにもかかわらず、それぞれのグループで全く異なるポスターが完成していました。披露された解答ポスターと各グループが作成したポスターを見比べては歓声があがるなど、情報を言葉だけで伝えること、また、理解することの難しさを経験する良い機会となりました。



2年生：能力開発のための知恵を学ぶ [4月13日(水)]



最初のエクササイズは、2人組でテニスボールを受け渡すコミュニケーショントレーニングでした。「受信する力」を高めるコツを学ぶことで、生徒は徐々に難度が高くなる課題を成功させていきました。

次は、「達人になるための知恵」をつけるための指南でした。達人になる（＝能（脳）力を開発する）ための知恵、その1は「成功（できる）イメージを持つと能力が変わる」、その2は「集中すると能力が変わる」、その3は「整理・整頓すると能力が変わる」でした。メンタルトレーニングの理論に基づいた課題に取り組むことで、生徒は一流選手（様々な分野の達人）に共通する心理的特長を体感していきました。

最後にスクリーンに映し出されたのは、「失敗の反対のことばって知ってる？」でした。正解は「成功」ではなく、「何もしないこと」。夢は実現するとは限らないけれど、失敗を恐れず、集中力とプラス思考で挑戦すれば叶うかもしれない、と思わせてくれた2時間でした。

講習終了後、講師の先生は、しっかり説明を聞き、体験では大いに盛り上がる生徒のメリハリのある受講態度を「絶賛」されていました。



兵庫県立 吉川高等学校

Yokawa High School

〒673-1129 三木市吉川町渡瀬300-12

Tel 0794-73-0068 Fax 0794-73-0167

